

会計		介護保険特別会計	
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策
	第2章 共生共感都市	04 高齢者福祉	01 長寿社会を支える仕組みをつくる
事業：介護給付費準備基金積立金			整理番号 0195
目的	介護保険事業における保険給付等の増加による財政需要に対応し、介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営に資するため基金を設置する。		
目標	介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営を図る。		
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	63,153	総コスト(千円) 63,550 事業費 63,153 人件費 397 公債費 0 一人あたり(円) 563 世帯あたり(円) 1,348 総合評価 B 評価理由 介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営が図れた。
	財源内訳		
	一般財源	13,053	
	国府支出金	49,595	
	地方債	0	
	その他特定財源	505	
貢献度	施策に対する事業貢献度 A 根拠	介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営が図れた。	
今後の方向性	第5期計画期間(平成24~26年度)内においては、基金残高の全額取り崩しを行うことにより、年度間の均衡が図れる見込み。		

事業優先順位	1 細事業：介護給付費準備基金積立金		整理番号	01	
目的	介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営を図るため。				
目標	介護保険財政の年度間の均衡と健全な運営を図る。				
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成12年度	根拠法令 河内長野市介護給付費準備基金条例	
事業費・財源	財源内訳	事業費(決算額)(千円)	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数 総コスト(千円) 63,550 事業費 63,153 人件費 397 公債費 0 一人あたり(円) 563 世帯あたり(円) 1,348 職員数(人) 0.05 再任用職員数(人) 0.00
		一般財源	63,153		
		国府支出金	13,053		
		地方債	49,595		
		基金利子収入	0		
		前年度決算剰余金	237		
		サービス費返還金	218		
			50		
今後の方向性	第5期計画期間(平成24~26年度)内においては、基金残高の全額取り崩しを行うことにより、年度間の均衡が図れる見込み。				
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者 介護保険第1号被保険者 約29,700人(計画値)	
	A	A	B		

事業：介護給付費準備基金積立金

1. 介護給付費準備基金

介護給付費準備基金は、介護保険事業における保険給付の増加などによる財政需要に対応し、介護保険財政の年度間の均衡を保つことを目的として設置している。

介護保険の給付に要する費用に不足が生じた場合は、これを財源として取り崩して介護保険特別会計歳入に繰り入れ、剰余金が生じた場合は、その生じた年度の翌々年度までに積み立てし、計画期間中の財政運営を確保する他、次期計画期間における保険料の軽減化に充てる。

細事業：介護給付費準備基金積立金

1. 介護給付費準備基金への積み立て

第5期介護保険事業計画期間（平成24年度～平成26年度）においては、介護保険料の上昇を抑えるため、第4期介護保険事業計画期間（平成21年度～平成23年度）に生じた剰余金を充当することとなっているが、平成24年度においては、年度間の均衡を図り、平成25年度及び平成26年度における保険給付の増加に備えるため、一時的に準備基金への積み立てを行った。

(1) 介護給付費準備基金の状況

区 分	金額（円）	内 訳	金額（円）
平成23年度末基金現在高 ①	112,264,234		
平成24年度基金積立金 ②	63,153,459	平成23年度決算剰余金	218,328
		介護給付費準備基金利子	236,962
		財政安定化基金取崩による交付金	49,594,881
		介護保険料剰余額	13,103,288
平成24年度末基金現在高 (①+②)	175,417,693		